

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターだより

ひまわり



第40号 令和5年12月
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

令和5年11月18、19日にかごしま県民交流センターで開催された「第1回鹿児島県薬剤師フェスタ」の報告をいたします。ケアマネジャーの立場でシンポジストとして発表・意見交換をしました。鹿児島県介護支援専門員協議会川薩支部 古城裕喜

テーマ 鹿児島これから。「地域で暮らしたい」を支える連携
～私たちにできることを考える～

シンポジウム
井上 和啓 鹿児島県病院薬剤師会理事（鹿児島大学病院）
勝間田 和重 南部調剤薬局（奄美薬剤師会）
川口 初美 訪問看護ステーション 養花天
古城 裕喜 鹿児島県介護支援専門員協議会川薩支部

【発表概要】
単に生活のしづらさを支えるインフォーマル資源が互助であるという解釈ではない。自身の力を発揮し提供した結果、何か誰かのためになり、それを実感することで「やりがい・生きがい」につながる。**ストレングスマodel**で「一人ひとりの人生に活力が生まれる」と専門職がイメージすることが重要だ。

今までの捉えかた⇒互助の資源を活用する（世話になる）
本来の意味⇒人の役に立つ『ありがとうなど感謝』自己の存在再確認

社会的苦痛
仕事上の問題
人間関係
経済的な問題
家庭内の問題
遺産相続 etc.

癒しと充実

互助：持てる能力を発揮（ストレングス）して存在価値を感じれる（感謝されると気持ちの力が充実する）←やりがい・生きがい

『鹿児島これから。「地域で暮らしたい」を支える連携～私たち（介護支援専門員）にできることを考える』

その人の互助史（造語）（役割の歴史） 『暮らしと家族』『暮らしと地域』を知る視点・繋ぐ実践力を身につける

その意味
→対象者は年齢を重ね、老い、喪失する。生活範囲は狭まり地域から遠ざかり自分の生活すらまならなくなる。自信を失い自己肯定感が低下する。対象者のその人生における、互助史(役に立ってきたその人生の歴史)を振り返る。また、共に振り替えられる『家族・友人・地域の人・専門職など』人と繋がることその人の『地域で暮らしたい』を支えるケアマネジメントになるのではないかと考えた。



『医療介護連携・多職種協働』介護支援専門員として思うこと
今までは『命を長らえる・病気にならない・ケガを早く治す』という医療的支援に重点がおかれていました。これからは『その人が暮らしの中で何を大切に生きてきたのか』『人生で何をやり遂げたいと願っているのか』といった生活や人生に重点をおいた支援が求められています。他者の暮らしの営みを自分のことのように考え感じ（同の倫理）、ともに人生の締めくくりで「まあまあ的人生だった」と笑って満たされるチームをつくりたいと思います。

新規事業所のご紹介

さつま町に新たな訪問介護事業所ができました。ヘルパーステーション気楽です。モットーは「一人一人に寄り添い共に歩んで生きたい～一度きりの人生気持ちよく生きよう～」です。

ヘルパーステーション
気楽
訪問介護

管理者：新改良平さん

令和5年10月17日から営業開始しました。
営業時間：月曜日～土曜日 8:30～17:30
介護保険：身体介護、生活援助、自費サービスも行っていきます。また、介護予防・日常生活支援総合事業も12月から営業開始致しました。
一緒に働く仲間も募集中です！
皆様、よろしくお願いたします。
住所：〒895-2104 さつま町柏原4456
TEL:0996-59-8501

今後の研修会の予定

令和5年度 第2回さつまネット研修会
講演：「障害者支援について～相談支援専門員の役割～」
講師：相談支援事業所さつま 所長 久保 秀和 氏

日時：令和5年12月19日(火)18:30～20:00
場所：薩摩郡医師会病院新館2階会議
対象：医療・介護・福祉従事者全般、行政職員等

令和5年度 第3回さつまネット研修会
令和6年1月19日(金)
講演：「褥瘡ケア～予防と局所治療～」
講師：済生会川内病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 神園 由佳 氏

※まもなくご案内を発送します。

令和5年も残す所僅かとなりました。今年1年色々ご協力頂き誠に有難うございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください(センターより)。

薩摩薩摩郡医師会におけるMCS の活用状況

年度別	登録施設数	アカウント取得者数(職種別)														登録患者数(9/22現在)
		小計	医師	歯科医師	薬剤師	看護職員	訪問看護	栄養士	OT	PT	ST	歯科衛生士	介護支援専門員	社会福祉士	介護福祉士	
H28年度	47	176	27	9	13	50	0	11	2	36	5	11	0	4	8	17
R元年5月	69	201	28	12	13	58	0	11	2	50	5	11	5	4	7	
R3年3月	81	276	34	7	15	91	1	16	2	51	5	11	14	8	21	
R4年3月	89	291	31	7	15	104	1	17	2	55	6	11	14	8	20	
R5年9月	91	311	21	6	15	47	52	1	16	2	51	10	36	14	8	20

令和5年度第1回川薩地区在宅医療推進リーダー会議

令和5年7月5日(水)川内看護専門学校に於いて委員25名の出席で開催されました。事前調査では新型コロナウイルスの5月以降の予防対策や研修会等の開催状況、ICT活用状況についてお伺いし、情報共有しました。川薩地域「入退院調整ルール」検討会及び川薩圏域地域リハビリテーション活動促進検討会について川薩保健所からご報告いただきました。

令和5年度第1回在宅医療推進事業運営委員会

令和5年9月25日(月)薩摩郡医師会会議室に於いて委員7名の出席で開催されました。令和5年度の上半年活動報告と決算報告の後、令和6年度活動計画案と予算計画案について協議し承認されました。また、貸出用ポータブル吸引器購入についても承認されました。

令和5年度第1回川薩地区在宅医療推進連絡協議会

令和5年11月15日(火)川内看護専門学校に於いて委員25名の出席で開催されました。令和4年度、5年度川内市医師会・薩摩郡医師会の両在宅医療支援センター活動報告、在宅医療・介護提供状況調査結果報告と考察、令和6年度活動計画案について協議して頂きました。入退院調整ルールアンケート調査結果について川薩保健所よりご報告いただきました。

貸出医療機器のお知らせ

小型吸引器シリーズ
ディスプレイ仕様

NEW

在宅医療・介護連携推進事業費にてポータブル吸引器をこの度購入いたしました。在宅療養患者様に貸出致します。パルスオキシメータ同様、緊急に必要な方にご活用いただきたいと思います。ご相談はセンター(53-0326又は53-4711)までご連絡くださいますようお願い致します。

【令和5年度のMCSの動向】

・新規参加事業所数：7箇所、退会事業所数：2事業所
・新規登録者数50名、退会者数28名
・9月末現在、患者グループ20名、自由グループ8(※患者グループは、患者様の死亡と共に削除されるため、現在書き込みされている数となっています。また、センターを招待して頂いているグループに限られます。)
・登録者で最も多い職種は、訪問看護師52名、介護支援専門員51名、医療機関や施設で働く看護師総数47名、介護福祉士36名の順となっています。